

●施策評価シートの見方

目指す成果の達成度を見る指標と基準値・経過値・目指そう値を記載しています。

目指す成果を実現するための行政の役割について記載しています。

基本目標 1-8 みんながみんなを大事にし、見守る目標が達成された姿 (1) 平和の尊さが実感できている

目指す成果 ① 非核平和への市民の意識が高まっている

誰もが世界平和の重要性や戦争の悲惨さを理解し、実感しています。

成果の達成度を測る指標							
指標名	単位	基準値	経過値				目指そう値
A 平和が大切であると感じている市民の割合	%	96.0 (H26)	94.7 (H27)	94.7 (H28)	95.1 (H29)	(H30)	96.4 (H30)
B 平和意識啓発事業への参加者数	人	2,090 (H25)	2,131 (H26)	2,404 (H27)	1,756 (H28)	(H29)	2,300 (H29)

行政の役割分担の方向性	事務事業名 (H28)	担当部 (H28)	担当課 (H28)	関連指標	関与の度合い
ア 平和の尊さを学べる機会や場をつくる	平和推進事業	市民生活部	自治振興課	A・B	A
イ 戦争被害者などの福祉の増進を図る	戦没者遺家族支援事業	保健福祉部	福祉政策課	A	B
	戦没者慰霊施設管理事業	保健福祉部	福祉政策課	A	C
	原爆被害者見舞金給付事業	保健福祉部	福祉政策課	A	B
	原爆被害者支援事業	保健福祉部	福祉政策課	A	B

目指す成果に係る経費	単位	H28
総コスト	千円	14,907
事業費	千円	7,061
人件費	千円	7,846

目指す成果に係る現状と課題

現 況

- ・平和意識の高揚のため、非核平和資料展をはじめ、被爆地・ヒロシマへの平和バスや巡回平和パネル展等を実施している。
- ・戦没者への慰霊及び平和の尊さの啓発のため、戦没者追悼式等を行い、戦没者を顕彰し、戦没者遺家族の福祉増進に努めている。

課 題

- ・戦争の記憶が強化しつつある中で、歴史の事実を今の世代に伝えていくために平和啓発事業を後継させることなく、継続していくことが重要である。

事業ごとに関連する指標を示しています。

指標への関与の度合いを示しています。
A: 関与 大
B: 関与 中
C: 関与 小

施策の実施に投じた費用（直接事業費と人件費（概算））を示しています。

指標の改善に効果があったと思われる主な取組（事業）の具体的内容について記載しています。

目指そう値の達成や目指す成果の実現に向け、今後必要な取組について記載しています。